

[様式1] 平成18年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成18年4月28日		記入者	連絡先	2726
部 名	経済部	課 名	産業振興課	課長名	下山啓二
事務事業名	経済部職場研修事業				
予算上の事務事業名	経済部職場研修費				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		31110		
基本目標	Ⅲ「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして				
政策名	第1章 立地特性を生かした産業の振興をめざします				
基本施策名	第1節 活力ある産業の振興				事業開始年度
施策名	第1施策 総合的な産業振興施策の推進				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
3 個別計画の概要			概要		
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分 ▼					
5 事業概要					
(1) 事業の目的 (何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				(2) 対象 (誰、何)	
経済部職員の政策形成能力の向上を図るため、専門派遣研修等を実施する。				経済部職員	
(3) 平成17年度事業の内容 (活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容 (活動)なのか。					
1 経済部新任職員研修 (2日間) 5月20日・26日 参加者21名					
2 視察派遣研修 「有機性資源を活用した資源循環型養豚の状況について」 3月22日・23日 派遣1名					
3 専門派遣研修					
①「経営アグリビジネススクール・地域マネージャー養成コース」7月6日・7日 派遣1名					
②中小企業支援担当者研修専門コース「マーケティング力強化の支援」9月26日～30日 派遣1名					
③「商工行政担当者のための中小企業施策セミナー」 10月11日～13日 派遣1名					
④「まちづくり条例実践セミナー」 2月2日・3日 派遣1名					
⑤中小企業支援担当者研修「新規創業支援・ビジネスプラン評価」 2月13日～17日 派遣1名					
⑥「中心市街地活性化シンポジウム」 2月16日・17日 派遣1名					
⑦中小企業支援担当者等研修過程専門コース「コミュニティビジネスの支援」 3月6日～10日 派遣1名					
4 職場専門研修					
「フィルムコミッション」ほか2回開催 参加者延べ140名					
6 関連・類似事業や他市の状況					
県内他市も実施している。					
7 事業費の推移 [単位：千円]					
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業費	238	365	296	405	405
一般財源	238	365	296	405	405
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	500	500	500	500	500
事業コスト合計	738	865	796	905	905
8 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (または、主たる事業名)	専門派遣研修			対象名称 と単位	受講者 (人)
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業コスト(主たる事業)	152	176	230	292	292
対象数	6	6	7	7	7
単位あたり経費(円)	25,333	29,333	32,857	41,714	41,714
前年度比		1.16	1.12	1.27	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	受講者数（人）		研修の受講割合をみる		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	55.0	67.0	169.0		
目標	60.0	70.0	200.0	200.0	200.0
目標達成度（%）	91.7	95.7	84.5		
10 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	受講者の満足度（%）	指標式と指標の説明	受講した研修の内容が当初の目的を達成しているかを測る。		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	100.0	100.0	100.0		
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度（%）	100.0	100.0	100.0		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
B	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
★★★★	[★★★★]：良好な状態を維持する事業				
	[★★★★]：概ね良好な状況である事業				
	[★★]：見直しを行う必要がある事業				
	[★]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		社会経済情勢が大きく変化するなか、産業振興施策の企画・立案を行うには、専門的知識の習得など職員の資質向上が必要不可欠である。今後も適時必要な専門研修等へ職員を派遣する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
研修報告書の内容を踏まえ、随時、受講する研修を見直していく。					
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			